

経営トップが語る今日に至るまでの挑戦・教訓 講演会／座談会『終わりのなき挑戦の軌跡』

～ アルプス企業人「私の回顧録」～

北アルプスを望む中信地域において、熱い想いを胸に企業を育て、そして地域を引っ張って来た経営者「アルプス企業人」が、自らの言葉で語る今日に至るまでの挑戦・悩み・迷いの数々。今なお挑戦を続けるその道のりには教科書には載らない生きた知恵と教訓が詰まっています。

「アルプス企業人」の想いを会社の経営や中核業務を担っている皆様を感じていただき、これからの新たな一歩を踏み出すヒントが得られることを願っています。

3回シリーズ

※申し込みは各回別

講師ご紹介



<https://www.nice-o.or.jp/info/info-66442/>



第1回 終了しました（株式会社一之瀬製作所 代表取締役 一之瀬龍太 氏）

第2回

講師： 株式会社ヤマサ 取締役会長 大久保典昭 氏
（建設資材事業・燃料事業・食糧事業など）

日時： 令和7年12月3日(水)、13時30分～15時

場所： 松本ものづくり産業支援センター 研修室2

形式： 座談会

定員： 10名 （会場のみ、オンラインではご参加いただけません）

第3回

事業所の
見学があります

講師： 東洋計器株式会社 代表取締役会長 土田泰秀 氏
（水道メーター、ガスメーター等の開発・製造・販売）

日時： 令和8年2月18日(水)、13時30分～15時30分

場所： 東洋計器株式会社 本社・本社工場

形式： 講演会(1時間)、事業所見学(1時間)

定員： 50名 （会場のみ、オンラインではご参加いただけません）

対象者

中小企業の経営幹部・管理職、後継者、創業を考えている方
【第3回のみ】支援機関の方も参加できます

参加費

無料

申込方法

※各回別※

長野県産業振興機構のホームページから

<https://www.nice-o.or.jp/formpage/formpage-64907/>

締切 第1回 終了しました
第2回 11月25日(火)
第3回 2月10日(火)



問合せ先

公益財団法人 長野県産業振興機構 松本センター
〒390-0852 松本市島立1020（長野県松本合同庁舎 2F）
TEL 0263-40-1780 FAX 0263-47-3380
E-mail : nice-matsumoto[at]nice-o.or.jp
担当 青沼、矢澤、細野、牛山

主催 公益財団法人 長野県産業振興機構

共催 一般財団法人 松本ものづくり産業支援センター

【第2回：講師ご紹介】

株式会社ヤマサ <https://www.s-yamasa.co.jp/>

取締役会長 大久保典昭 氏



建設資材・燃料・食糧など、地域の暮らしの礎を支える商品・サービスを幅広く提供する株式会社ヤマサ。

第2回座談会の講師は同社を1992年から30年間に渡って率いてきた現会長の大久保典昭氏。大久保会長が経営を引き継いだ当時、事業は多岐に渡るものの、収益面では多くの課題を抱え、会社は存亡の危機にあった。大久保会長は大胆な事業再編と統合を断行。同時に時代の潮流と顧客ニーズを鋭く見極め事業内容を充実させ、「強靱な筋肉質の企業体」へと再生した。この変革において、債権者や取引先に迷惑をかけず、従業員の解雇や給与削減も一切行わなかった。これにより、地域社会、そして金融機関からの揺るぎない信頼を確立した。

その後も同社は時代と顧客ニーズを丁寧に掘り起し、業績を伸ばしている。例えば、通販事業では小さなそば製造所がマーケティングに課題を抱えることを読み取り、インターネット夜明け前の1993年には「そばぶるまい」を商標登録。2005年には楽天市場に开店し、総合ランキングでベスト3に入る人気商品へと育てた。

大久保会長の経営哲学を語る上で欠かせないのが、社会福祉法人ハーモニーの設立だ。

株式会社ヤマサの再建に目処が立った頃、「世のため人のためになる仕事」を経営理念に掲げる大久保会長は高齢者介護の必要性を痛感していた。「営利目的ではないからこそ、地域を支え、地域に支えられてきた企業として取り組む使命がある」との信念のもと、2002年に私財を投じて社会福祉法人ハーモニーを設立し、高齢者介護に乗り出した。これは、株式会社ヤマサの再生で培われた信頼と大久保会長の「地域貢献への覚悟」があったからこそ実現した。現在、ハーモニーが運営する高齢者介護施設は、行政監査で「地域一番」と評価されている。大久保会長は「真面目にやってるからね...」と謙遜されるが、そこには揺るぎない経営者としての誇りが垣間見える。

北爪社長にバトンタッチされた今日も、株式会社ヤマサは「時代を読む、顧客ニーズを読む、社会に貢献する」経営を実践している。

【第3回：講師ご紹介】

東洋計器株式会社 <https://www.toyo-keiki.co.jp/>
代表取締役会長 土田泰秀 氏



水道メーター、ガスメーターで確固たる地位を築く東洋計器株式会社。
第3回講演会の講師は業界の常識を覆すイノベーションで東洋計器を大きく成長させた同社代表取締役会長 土田泰秀氏。

土田氏は1978年に同社へ入社後、1998年に社長に就任。以来、「計量の価値を高める」ことを目標に、自社のみならず業界全体を力強く牽引してこられた。

水道・ガスメーターは長らく、検針員による目視検針が主流だった。しかし土田氏は、いち早くDXの重要性を見抜き、「マイコンメーター」という概念を提唱。更には無線通信技術と融合した「スマートメーター」の開発に注力し、業界に先駆けて実用化に成功した。これは単なる製品開発に留まらず、社会インフラの効率化と持続可能性向上に貢献する、まさに「社会課題解決型イノベーション」だった。

土田氏の功績はスマートメーターの技術開発、製品開発に留まらない。土田氏はその価値を社会全体に広めるために“東計会”を創設した。東計会は全国のLPガス・都市ガス事業者が集い、最新の計量機器や統計データの分析、活用ノウハウを共有し、ガス利用の拡大、事業の効率化や適正な料金体系の確立を目指す業界唯一の取り組みである。東計会の活動はデータに基づいた経営の浸透や、ガス事業全体の健全な発展に大きく貢献している。

現在、同社はスマートメーターで得られる生データの分析を基盤に、集中監視システムや緊急通報装置、エコ事業や環境ビジネスへと事業を発展させている。「計量の価値を高める」という理念のもと、時代のニーズと技術を巧みに取り込み、新たな価値を創造し続けている。

「不安に思ったことは無い、やり切るだけだ」と語る土田氏の座右の銘は「熱意は磁石」。本講演では、不確実性の時代を生き抜く経営哲学を熱く語っていただく。